

準グランプリ

パナソニック カーエレクトロニクス

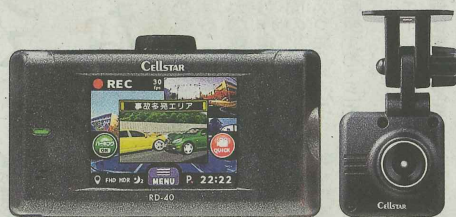
Blue Battery caos

アイドリングストップ（ISS）車用、標準車（充電制御車）用のカーバッテリー。2022年秋にモデルチェンジし、市場に投入。ISS用は大容量と充電回復力、標準車用は大容量と高速充電性能を従来品と比べ大幅に向上した。メンテナンス性も大幅にアップ。新形状の液口栓を採用することなどで雨水などが内部に侵入しにくい構造として、液漏れトラブルの低減につながっている。また量販ルートの販売製品は、365日24時間体制のバッテリー上りの現場に駆けつけるロードサービスを提供した。レスキュー隊が現場でジャンピングサービスを行う。



グランプリ セルスター工業「RD-40/RD-60」

ドライブレコーダーとセーフティー機能を一体化



前後2カメラのドライブレコーダーとセーフティー機能を合わせた一体型モデルを業界で初めて製品化した。あおの運転などに効果を発揮する「後方キックチャージ」のほか、「前車発車警告」「車線逸脱警告」などの安全運転支援機能を搭載。また、Ver.2に強化したGPSおしらせ機能が、ドライブ中の危険なエリアとして逆走注意エリア「ゾーン30」「事故多発エリア」などを警告音と画面表示で事前に知らせる。一つの製品で複数の機能を備えた利便性と合理性、経済性などが販売店やユーザーなどからの支持を集めた。さらに、「二刀流」製品の特徴を生かし、安全性や安心感など、さまざまな切り口から顧客に提案できる可能性を秘めた製品としても期待されており、販売機会を広げる製品としても評価した。

36th 日刊自動車新聞 **大賞 用品 2023**

概要と選考方法

〈対象製品〉2022年4月～23年6月の期間に発表・発売され、アフター市場で注目を集めた製品（自動車メーカーの純正品は除く）。

〈賞内容〉グランプリ・準グランプリのほか、タイヤやホイール、カーナビゲーションなど17部門と特別賞を設けた。

〈選考方法〉本紙紙面での掲載やカー用品販売店の協力のもと実施したアンケートを参考に、本紙記者らで構成する選考委員会が選定。販売数量だけでなく、商品開発のアイデアや話題性、業界貢献度、社会状況なども踏まえ、総合的に判断した。

機能用品部門

IPF

ドアハンドルプロテクター

レザー調のテクスチャーとステッチで風合いのあるデザインに仕上がられたドアハンドルプロテクター。従来の透明やカーボン調でスポーティーなものと異なり、アウトドアカスタムが流行する中、ドア周りのワンポイントカスタムとして注目される。デリカD:5やジムニー、ハイエース用が発売され、7月には汎用タイプも発売する予定。意匠登録済みで、高耐久性PVC素材を採用し、IPFブランドとして妥協のない製品に仕上がっている。



調、ウッド調の素材を使った製品をラインナップする。

整備サポート部門

ツールブラネット TPM-3

低価格モデルでありながら、スキャンツールとしてのフルスペックの機能に加え、ADAS搭載車のエーミング（機能調整）作業が行える。車検・点検時の「メンテナンスモード」、バッテリーの交換を後押しする「簡易バッテリーテスト」などの機能も搭載。サービス工場を併設する用品販売店の収益アップに寄与するコンパクトサイズのスキャンツール。



補修部品部門

SPHERE LIGHT/SPREAD 補修用LEDバルブ

「スフィアライト」ブランドから国産車専用の「補修用LEDバルブ」が登場。ディーラーや整備工場に車両が入庫した際、コスト重視のユーザーへ向けたLED化への提案や、球切れ時の補修部品と



しても使用しやすいローエンドモデルの製品。2022年11月に、ポジション・ライセンス・ルームランプなどで使用する「T10」を発売以降、バックランプ専用「T16/T20/S25」の3サイズを発売。今後もラインナップを追加していく。

大型車用品部門

センコー商事

ミリ波後退衝突防止センサー

大型トラックで後を絶たない後部衝突事故を防ぐため開発された。現在流通している大型トラックの多くはバックカメラを搭載しており、背後が確認できないことは少ないが、サイドミラーを使った視覚的な確認が不足することで事故が発生するケースが多い。センサーを後付けすることによって音で注意を促し、事故を未然に防ぐ。物流関連企業のグループ会社ならではのアイデアに注目した。



二輪車用品部門

テックメイトジャパン

Optimate PRO-1 DUO

12V/10Ah鉛電池および12.8/13.2Vリチウム電池兼充電器。バッテリーサイズに合わせ充電電流を自動調節する特許技術「ampmatic

（アンプマティック）」や独自のパワーサプライ機能が特徴。過放電でスリープ状態になったリチウム電池を復活させる機能や、12.8/13.2Vリチウム電池専用の充電プログラムも搭載している点などを評価した。



安全・安心サポート部門

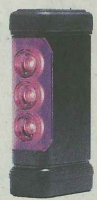
加藤電機

ホーネット車内置き去り防止安全装置「BS-700」シリーズ

政府のガイドラインで定められた「降車時確認式」と「自動検知式」の2つの機能を備えた車内置き去り防止安全装置。センサーの作動・解除用のリモコンを採用するなど、利便性との良さを考えて設計。導入する側のニーズや使い方などに応じて、装置の仕様や設定をアレンジできる。30年にわたる自動車の盗難防止装置の開発技術とノウハウに加え、保安基準に適合するカーセキュリティ技術を駆使した製品だ。



◇ エーモン工業
停止表示灯「パープルセーバー」
高速道路での故障や事故の際に、三角表示板の代わりに使用する停止表示灯。専用開発した高輝度のLEDと照射角度を絞った集光レンズを使用し、夜間は約800lm、昼間は約300lm先から視認できる。強力な発光で、故障車の存在を知らせる役割を果たす。底面の強力マグネットで簡単に設置することができる。また、灯火色に紫色を使用するなど、道路交通法施行規則で定められた基準を満たした設計となっている。



アイデア部門

ミツバサンコーワ FITT360PBα

前面の左右と後方の3カ所のカメラで、ユーザーの周囲を記録する、首にかけるウェアラブルカメラ。操作は、接続と撮影の2つのボタンで、すべての機能をコントロールできるほか、専用アプリからも操作が可能。IPX4の防水性能で、天候に左右されず使用することができる。二輪



車はもちろんのこと、自転車やウィンタースポーツ、スケートボードなど様々な場面で活用できる点を評価した。

アウトドア部門

カーメイト

ルーフボックス

「INNOギアキャリー160」「INNOクイックベース60」

「ギアキャリー」は車載専用設計されたルーフボックス兼キャリーケース。ベースキャリアに専用の「クイックベース」を取り付けることで荷物を入れたまま脱着が可能だ。ルーフボックスにタイヤを付けたことで、車から移動先まで簡単に荷物を運ぶことができる。ルーフボックスごと移動するというこれまでになかった発想を評価した。



ロングセラー部門

エンケイ

RPF1シリーズ

2002年の発売以来、エンケイの軽量ホイールとして圧倒的な人気を誇り、売り上げナンバーワンの「RPF1」。マクラーレンF1マシン用ホイールを踏襲し、応力分散とブレーキ放熱に優れた2×6

のマルチスポークデザインが特徴。数々のレースからフィードバックされた同社独自のリム形成技術「マッドプロセス」でリムを薄肉化し、大幅な軽量化を実現している。また最新技術を用いた派生モデルも誕生するなど、走りを脚元から支える。



特別賞

エッチ・ケー・エス 創立50周年

日本が世界に誇る総合チューニングパーツメーカーが、1973年の創立から50年を迎えた。エンジンの研究開発や市販ターボキット、マフラー、サスペンション、電子制御部品などハイパフォーマンスな製品などを開発・販売し「チューニング」を文化として根付かせた。現在は、産学連携で脱炭素化や排ガス低減技術など熱効率向上に向けた取り組みも進めている。自動車業界が100年に1度の大変革期にある中事業の幅を広げており、業界のパイオニアとして新たな技術開発や製品に期待がかかる。

